

避難施設関係者連絡会実施報告書

- 1 実施日時 2022 年 7 月 25 日(月) 10 : 00 ~ 11 : 20
- 2 開催場所 金井小学校
- 3 出席者 [書ききれない場合は裏面の空いてる欄に氏名の記入をお願いします。]

学校 役職 校長

防災課 1名

指定職員 4名

市民

組織名 玉川学園松風台自治会自主防災隊

組織名 有楽玉川学園自主防災隊

組織名 金井町内会自主防災隊

組織名 玉川学園第五地区自主防災隊

組織名 つるかわ和光台自主防災隊

組織名 やくし台自治会自主防災隊

組織名 玉川学園興人自治会自主防災隊(欠席)

組織名

組織名

5 委員会でのやり取りと意見（まとめ）

- ・金井小学校避難施設運営委員長、副委員長については、平時のうちから決めたい旨、打診（防災課）
→今回の連絡会では決定に至らなかった。これまでと同様、発災時に決めることとする。

- ・過去の議事録から玉川学園興人自治会は、発災時に金井小学校に避難することを想定していないため、金井小学校の避難施設運営委員会の構成団体からの脱会することを説明（防災課）
→反対意見が特になし。本連絡会をもって玉川学園興人自治会は金井小学校避難施設運営委員会からの脱会で合意。

- ・やくし台自治会も金井小学校まで距離がある。発災時に避難施設として使用する想定があるか。（防災課）
本件については一旦自治会に持ち帰りとし、今後別の避難所へ移るかを自治会で話し合いを行う。
→後日、やくし台自治会代表者に電話確認。玉川学園興人自治会同様、金井小の連絡会から脱会希望。

- ・発災時、自宅が安全であれば自宅内の安全な場所や親戚知人宅も含めた在宅避難を推奨していきたい。（地域）
まず本当に避難所への避難が必要か検討してほしい。地域でも在宅避難については特に共有してほしい。（防災課）

- ・年単位で各自治会の担当者が変わることについて、引継ぎが大変というデメリットがある反面、各自治会に担当者を経験したことがある方が増えるため、メリットもある。（地域）地域で担い手を増やして欲しい。（防災課）

- ・発災時には、指定職員が参集し、避難所を開錠するまでの間は、避難者は避難所に入ることができない。
なお、避難の際は原則車両避難は不可とし、徒歩とすること。

- ・風水害の際の避難所開設はどうなるのか。（地域）
→地震と風水害では発災時の職員参集体制が異なる。環境資源部が担当。地震と風水害が同時に発生した際には、その時の体制に応じて、臨機応変に対応を行うことになる。（防災課）
ただし、金井小学校の一部は土砂災害警戒区域内にあるため、予備避難所としての位置付けとなっている。
風水害発生時は、金井中学校が先に避難所開設されるため、まずは金井中学校に避難していただくことになる。

- ・発災時におけるコロナウイルス感染症対策はされているのか。（地域）
→コロナウイルス感染症対策資材については、放送室内の開設キットに一式用意されている。

- ・給水拠点について確認したい。最寄りの野津田町浄水所に水を取りに行くことになるか。（地域）
→備蓄の水が不足した場合、応急給水栓が導入されたため、それを使用してもらう。

- ・地元の市民の方のご自宅にある井戸も使用可能か。（地域）
→発災時に水を提供していただける災害時協力井戸もあるが、飲料水ではなく生活用水としてのみの使用可能。

- ・避難所開設は震度6弱未満だと行わないのか。（地域）
→指定職員の参集・避難所開設は行わない。なお、学校教職員は、震度5弱から参集することとしている。

- ・10/16（日）の9：00～12：00に避難所開設訓練を実施。
訓練内容は主に資機材の確認（応急給水栓・マンホールトイレ・バルーン投光器等）
参加者については、三密を避けるため、各自治会上限4～5名程度とする。
なお、事前に防災課職員・指定職員のみで、資機材の使用手法や感染症対策の再確認を行う。日程は要調整。

- ・上記の避難所開設訓練の詳細については、後日防災課から発送する参加通知にて周知。

- ・本連絡会で行う避難所開設訓練とは別に、玉川学園松風台自治会・有楽玉川学園自治会共同で、
9/11（日）に防災訓練を実施予定。起震車も使用。金井小学校とも調整済み。

- ・玉川学園松風台自治会・有楽玉川学園自治会・やくし台自治会は本連絡会の資料及び議事録を電子データで提供する。